



付録

新型車の環境情報

車名		コルト				ランサーカーゴ				
										
発売時期		2002年11月				2002年12月				
類別呼称		Standard/ Casual Version/ Elegance Version		Standard/ Sport Version/ Sport-X Version		E/G	E/G	E/G		
乗車定員(人)		5				2<5>				
車両型式		UA-Z25A	UA-Z26A	UA-Z27A	UA-Z28A	UB-CS2V				
エンジン	型式	4G19 MIVEC		4G15 MIVEC		4G15				
	排気量(L)	1.343		1.468		1.468				
	種類	DOHC 16V 4気筒				SOHC 16V 4気筒				
	使用燃料	無鉛レギュラーガソリン				無鉛レギュラーガソリン				
	燃料供給装置	ECI-MULTI (電子制御燃料噴射)				ECI-MULTI (電子制御燃料噴射)				
	最大出力(ネット)(kW(PS)/rpm)	66(90)/5600		72(98)/6000		66(90)/5250				
	最大トルク(N・m(kg・m)/rpm)	121(12.3)/4250		132(13.5)/4250		133(13.6)/3750				
駆動装置	駆動方式	2WD	4WD	2WD	4WD	2WD		4WD		
	変速機	CVT				5M/T	CVT	4A/T		
車両重量(kg)		1010/1030	1090/1100	1020/1030	1100	1130	1160	1250		
環境情報	燃料消費量	10・15モード燃費(km/L)		20.0/18.4	17.4	18.0	17.0	16.0	15.8	14.0
		CO ₂ 排出量(g/km)		118/128	136	131	139	147	149	168
		参考		2010年新燃費基準に適合				2010年新燃費基準に適合		
	排出ガス	法規適合レベル		ガソリン乗用車 超-低排出ガス				超-低排出ガス		
		10・15モード 規制値(g/km)	CO	0.67				0.67		
			HC	0.02				0.02		
			NOx	0.02				0.02		
	PM		-				-			
	適合騒音規制レベル		平成10年規制に適合 規制値:加速騒音 76 dB-A				平成10年規制に適合 規制値:加速騒音 76 dB-A			
	エアコン	冷媒の種類		HFC134a				HFC134a		
		冷媒の使用量(g)		550				550		
鉛使用量		自工会2005年目標 ('96年比1/3以下)達成				自工会2005年目標 ('96年比1/3以下)達成				
リサイクルしやすい材料を使用した部品		バンパー、インパネ、内装トリム、ラジエーターグリルなど				バンパー、フードウェザーストリップ、 インパネ、内装トリム類など				
リサイクル材料の使用		吸音材、エンジンオイルレベルゲージ				エアクリーナーケース、レゾネータ、 吸音材、遮音材など				

主要車種の環境情報は、ホームページ(<http://www.mitsubishi-motors.co.jp/ECO/>)で紹介しています。

主要事業所・関連会社一覧

2003年6月現在

■事業所		住所	電話番号	
三菱自動車	本社	〒108-8410 東京都港区港南2-16-4	(03)6719-2111 (大代表)	
	開発本部	〒444-8501 愛知県岡崎市橋目町字中新切1	(0564)31-3100	
	十勝研究所	〒080-0271 北海道河東郡音更町9-3	(0155)32-7111	
	多摩デザインセンター	〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-16-1	(0423)89-7307	
	名古屋製作所	岡崎工場	〒444-8501 愛知県岡崎市橋目町字中新切1	(0564)31-3100 (総務部岡崎総務担当)
		大江工場	〒455-8501 愛知県名古屋市長区大江町2	(052)611-9100 (総務部総務担当)
	パワートレイン製作所 (旧 京都製作所)	京都工場	〒616-8501 京都府京都市右京区太秦巽町1	(075)864-8000 (代表)
		滋賀工場	〒520-3212 滋賀県甲賀郡甲西町小砂町2-1	(0748)75-3131 (代表)
水島製作所	〒712-8501 岡山県倉敷市水島海岸通1-1	(086)444-4114		
三菱ふそう	本社	〒108-8285 東京都港区港南2-16-4	(03)6719-4601 (総務部)	
	開発本部	〒211-8522 神奈川県川崎市中原区大倉町10	(044)587-2000	
	喜連川研究所	〒329-1411 栃木県塩谷郡喜連川町大字鷺宿4300	(028)686-4711 (代表)	
	生産本部	川崎工場	〒211-8522 神奈川県川崎市中原区大倉町10	(044)587-2000
		中津工場	〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津字桜台4001	(0462)86-8111
		大江バス工場	〒455-0025 愛知県名古屋市長区本星崎町字南3998-16	(052)611-9155 (人事部大江管理担当)

2002年4月現在

■主要関連会社		所在地	事業内容	出資比率	資本金
三菱自動車	三菱自動車エンジニアリング(株)	神奈川県川崎市	自動車および部品の開発・設計	100%	450百万円
	(株)エムエムシーコンピューターリサーチ	愛知県岡崎市	コンピュータによる開発関係業務	100%	30百万円
	パジェロ製造(株)	岐阜県加茂郡	パジェロ製造、金型・板金部品の製造	100%	610百万円
	水島工業(株)	岡山県倉敷市	軽四特装車、自動車部品の製造	100%	64百万円
	菱和金属工業(株)	愛知県知立市	板金部品(ドア・フード等)製造	100%	150百万円
	三菱自動車教育センター(株)	愛知県岡崎市	自動車整備士学校、国内・外整備技術研修	100%	750百万円
	三菱自動車テクノサービス(株)	東京都品川区	乗用車新車整備、ディーゼルエンジン再生	100%	400百万円
	MMCテスト&ドライブ(株)	愛知県岡崎市	走行試験、計測、試験車の整備	100%	50百万円
	(株)ラリーアート	東京都港区	モータースポーツへの参加・支援	100%	54百万円
	三菱オートクレジット・リース(株)	東京都港区	クレジット事業、レンタカー、リース	43.25%	960百万円
	三菱自動車ロジスティクス(株)	東京都港区	国内・輸出向成車輸送元請業務	75%	300百万円
	(株)エムエムシーインターナショナル	東京都港区	自動車および部品の輸出入手続、技術翻訳	100%	40百万円
	(株)JIN	東京都港区	企業向けの人材開発に係る教育・研修サービス	100%	11百万円
	Mitsubishi Motors North America, Inc. (MMNA)	米国	自動車製造・輸入・販売・関連情報収集など	100%	811.6百万ドル
	Netherlands Car B. V. (Ned Car)	オランダ	自動車製造	85%	1,214百万EUR
	Mitsubishi Motors Europe B. V. (MME)	オランダ	欧州子会社統括	100%	1,283百万EUR
	Mitsubishi Motors Philippines Corp. (MMP)	フィリピン	自動車輸入・組立・販売	51%	1,640百万ペソ
	Asian Transmission Corporation (ATC)	フィリピン	自動車用エンジン・トランスミッション等の組立	5.3% MMP80%	350百万ペソ
	MMC Sittipol Co., Ltd. (MSC)	タイ	自動車製造・輸入・販売	99.91%	16,145百万バーツ
	Mitsubishi Motors Australia Ltd. (MMAL)	オーストラリア	自動車製造・輸入・販売	100%	279百万豪ドル
三菱ふそう	三菱自動車テクノメタル(株)	福島県二本松市	鋳・鍛造品製造、機械加工	100%	1,940百万円
	三菱自動車バス製造(株)	富山県婦負郡	バスボディ架装	100%	6,400百万円
	(株)パプコ	神奈川県海老名市	荷台・バンボディ等トラック架装	100%	600百万円
	Mitsubishi Fuso Truck of America, Inc. (MFTA)	米国	トラック輸入・販売	100%	10百万ドル
	Mitsubishi Trucks Europe (MTE)	ポルトガル	商用車輸入・組立・販売	99.66%	7.5百万EUR

製作所レポート

2002年度における三菱自動車並びに三菱ふそうの各工場の大気、水質の主な指標に関する排出状況、およびPRTR対象物質の取り扱いに関するデータは次のとおりです。(規制値は該当地域で適用される法律、条例、公害

防止協定の中で最も厳しい数値を記載しています。また、大気排出状況は測定値の内の最大値を示しています。PRTRについては、第1種指定化学物質の内、取扱量1t/年以上のものについて記載しています。

◎ 表中の専門用語について

NOx	窒素酸化物
SOx	硫黄酸化物
BOD	生物化学的酸素要求量
COD	化学的酸素要求量
SS	水中の懸濁物質
ND	検出限界以下

三菱自動車 名古屋製作所 (ISO14001取得：1998年11月)

■ 岡崎工場



所在地	愛知県岡崎市 橋目町字中新切1
設立	1977年
敷地/建物延面積	425,000/149,000m ²
社員数	1,800人
主な生産品目	乗用車
生産工程	プレス、溶接組立、塗装、組立、樹脂成型

◎大気

物質	設備	単位	規制値	排出状況
NOx	小型ボイラー	ppm	120	45
	ボイラー	ppm	100	70
	乾燥炉	ppm	250	64
ばいじん	焼却炉	ppm	200	100
	小型ボイラー	g/m ³ N	0.1	0.003
	ボイラー	g/m ³ N	0.1	0.002
	乾燥炉	g/m ³ N	0.1	0.008
焼却炉	g/m ³ N	0.1	0.095	
SOx (燃料S分規制)		wt%	1	0.003
ダイオキシン	焼却炉	ng-TEQ/m ³ N	10	0.4

◎水質

物質	単位	規制値	最大	最小	平均
BOD	mg/l	10	8.0	1.5	3.4
COD	mg/l	10	8.8	4.2	6.1
SS	mg/l	10	2.0	1.0	1.0
油分	mg/l	2	1.5	0.5	0.6
全窒素	mg/l	60	8.6	5.0	7.0
全リン	mg/l	8	1.4	0.03	0.3
銅	mg/l	0.5	0.01	0.01	0.01
亜鉛	mg/l	1	0.12	0.02	0.05
マンガン	mg/l	3	0.5	0.1	0.2
全クロム	mg/l	0.1	0.02	0.02	0.02
鉛	mg/l	0.1	0.005	0.005	0.005

◎PRTR対象物質 (単位:kg/年)

物質番号	物質名	取扱量	排出量		移動量		リサイクル量	除去処理量	消費量
			大気	公共用水域	下水道	廃棄物			
1	亜鉛の水溶性化合物	7,927	0	24	0	975	0	0	6,928
9	アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	9,916	0	0	0	297	0	10	9,609
30	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	6,322	0	0	0	122	0	4	6,196
40	エチルベンゼン	66,373	25,997	0	0	0	0	0	40,376
43	エチレングリコール	195,775	0	0	0	0	0	0	195,775
63	キシレン	501,957	124,747	0	0	2,004	991	180,903	193,312
101	エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	1,076	1,065	0	0	0	0	11	0
227	トルエン	601,425	76,291	0	0	6,474	4,282	211,105	303,274
230	鉛及びその化合物	1,346	0	1	0	41	0	0	1,304
232	ニッケル化合物	1,303	0	12	0	636	0	0	655
299	ベンゼン	16,775	136	0	0	0	0	0	16,638
311	マンガン及びその化合物	2,376	0	118	0	782	0	0	1,475
合計		1,412,570	228,236	155	0	11,331	5,273	392,032	775,543
179	ダイオキシン類 (g-TEQ/年)	0.169	0.040	0.000	0.000	0.129	0.000	0.000	0.000

■ 大江工場



所在地	愛知県名古屋市 港区大江町2
設立	1920年
敷地/建物延面積	177,000/136,000m ²
社員数	100人
主な生産品目	リヤアクスル
生産工程	機械加工

◎大気

物質	設備	単位	規制値	排出状況
NOx	焼却炉*	ppm	74	68
	ガスタービン	ppm	39	37
ばいじん	焼却炉*	g/m ³ N	0.4	0.051
	ガスタービン	g/m ³ N	0.04	0.007
SOx (燃料S分規制)		wt%	0.05	0.003
ダイオキシン	焼却炉*	ng-TEQ/m ³ N	10	-

*2002年7月から他社へ移管

◎水質

物質	単位	規制値	最大	最小	平均
BOD	mg/l	20	19.0	1.6	6.2
SS	mg/l	20	18.0	2.0	6.2
油分	mg/l	5	1.5	0.5	0.7
全窒素	mg/l	60	9.0	3.6	6.4
全リン	mg/l	8	0.4	0.1	0.2
銅	mg/l	1	0.01	ND	0.01
亜鉛	mg/l	5	0.11	0.03	0.07
全クロム	mg/l	2	ND	ND	ND
鉛	mg/l	0.1	ND	ND	ND
マンガン	mg/l	10	ND	ND	ND

◎PRTR対象物質

物質番号	物質名	取扱量	排出量		移動量		リサイクル量	除去処理量	消費量
			大気	公共用水域	下水道	廃棄物			
179	ダイオキシン類 (g-TEQ/年)	0.063	0.048	0.000	0.000	0.015	0.000	0.000	0.000

三菱自動車 パワートレイン製作所 (旧 京都製作所) <ISO14001取得: 1998年11月>

■ 京都工場



所在地	京都市右京区 太秦巽町1
設立	1944年
敷地/建物延面積	299,000/ 259,500m ²
社員数	2,400人
主な生産品目	自動車用エンジン
生産工程	鋳造、機械加工、組立

◎大気

物質	設備	単位	規制値	排出状況
NOx	ボイラー	ppm	150	70
	溶解炉	ppm	200	93
	加熱炉	ppm	180	69
	乾燥炉	ppm	230	25
	ガスタービン	ppm	70	43
ばいじん	ボイラー	g/m ³ N	0.1	0.004
	溶解炉	g/m ³ N	0.1	0.067
	加熱炉	g/m ³ N	0.2	0.044
	乾燥炉	g/m ³ N	0.2	0.003
SOx (燃料S分規制)		wt%	0.5	0.01
ダイオキシン	アルミ溶解炉	ng-TEQ/m ³ N	5	<0.49

◎水質

物質	単位	規制値	最大	最小	平均
BOD	mg/l	600	25.0	1.0	7.1
COD	mg/l	-	15.0	5.0	10.8
SS	mg/l	600	8.0	<5.0	5.1
油分	mg/l	5	2.0	<1.0	1.1
全窒素	mg/l	240	35.0	4.0	20.9
全リン	mg/l	32	0.2	<0.1	0.1
銅	mg/l	3	<0.05	<0.05	<0.05
亜鉛	mg/l	5	1.5	<0.05	0.6
マンガン	mg/l	10	1.4	<0.05	0.3
全クロム	mg/l	2	<0.05	<0.05	<0.05

注) 下水道へ放流

◎PRTR対象物質 (単位:kg/年)

物質番号	物質名	取扱量	排出量		移動量		リサイクル量	除去処理量	消費量
			大気	公共用水域	下水道	廃棄物			
29	ビスフェノールA	1,860	1,095	0	0	23	0	0	742
40	エチルベンゼン	35,424	11	0	0	3	0	0	35,410
43	エチレングリコール	5,460	0	0	0	164	0	0	5,296
63	キシレン	173,621	51	0	0	89	0	0	173,480
68	クロム及び3価クロム化合物	77,513	0	0	0	0	0	0	77,513
109	2-(ジエチルアミノ)エタノール	2,206	0	0	0	1,006	0	0	1,200
144	HCFC-225	1,325	0	0	0	40	0	0	1,285
198	ヘキサメチレンテトラミン	128,703	0	0	0	128,703	0	0	0
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	12,942	4	0	0	12,938	0	0	0
227	トルエン	383,898	115	0	0	23	0	0	383,760
253	ヒドラジン	1,081	0	0	0	0	0	0	1,081
266	フェノール	17,431	0	0	0	0	0	17,431	0
272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	2,164	0	0	0	216	0	0	1,948
283	ふっ化水素及びその水溶性塩	5,712	0	0	0	0	0	0	5,712
299	ベンゼン	11,598	3	0	0	0	0	0	11,595
310	ホルムアルデヒド	5,725	5,475	0	0	0	0	250	0
341	メチレンビス(4,1-シクロヘキレン)ジイソシアネート	38,075	0	0	0	3,808	0	0	34,268
	合計	904,737	6,754	0	0	147,014	0	17,681	733,289
179	ダイオキシン類 (g-TEQ/年)	0.014	0.014	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

■ 滋賀工場



所在地	滋賀県甲賀郡 甲西小砂町2-1
設立	1979年
敷地/建物延面積	172,800/ 64,000m ²
社員数	500人
主な生産品目	自動車用エンジン
生産工程	機械加工、組立

◎大気

物質	設備	単位	規制値	排出状況
NOx	ボイラー	ppm	150	74
ばいじん	ボイラー	g/m ³ N	0.1	0.004

◎水質

物質	単位	規制値	最大	最小	平均
BOD	mg/l	20	7.0	1.0	3.2
COD	mg/l	20	5.6	0.5	5.5
SS	mg/l	20	4.3	0.5	3.0
油分	mg/l	5	0.5	0.5	0.5
全窒素*	mg/l	12/8	3.6/3.7	0.6/0.5	1.8/1.5
全リン*	mg/l	1.2/0.6	0.4/0.1	0.1/0.1	0.1/0.1
銅	mg/l	1	<0.01	<0.01	<0.01
亜鉛	mg/l	1	0.5	0.3	0.3
マンガン	mg/l	10	<0.1	<0.1	<0.1
全クロム	mg/l	0.1	<0.01	<0.01	<0.01

*工場により規制値が異なる(既設工場/新設工場)

◎PRTR対象物質 (単位:kg/年)

物質番号	物質名	取扱量	排出量		移動量		リサイクル量	除去処理量	消費量
			大気	公共用水域	下水道	廃棄物			
16	2-アミノエタノール	1,929	0	0	0	1,929	0	0	0
63	キシレン	2,195	1	0	0	8	0	0	2,187
227	トルエン	2,844	1	0	0	0	0	0	2,843
	合計	6,968	2	0	0	1,937	0	0	5,029

三菱自動車 水島製作所 <ISO14001取得：1998年12月>

■ 水島製作所



所在地	岡山県倉敷市 水島海岸通1-1
設立	1943年
敷地/建物延面積	1,245,700/ 465,400m ²
社員数	4,200人
主な生産品目	乗用車、軽自動車、自動車用エンジン、 トランスミッション
生産工程	鋳造、鍛造、機械加工、プレス、 溶接組立、塗装、組立

◎大気

物質	設備	単位	規制値	排出状況
NOx	ボイラー	ppm	150	70
	乾燥炉	ppm	230	42
	焼却炉*	ppm	250	61
ばいじん	ボイラー	g/m ³ N	0.1	0.008
	乾燥炉	g/m ³ N	0.1	0.002
	焼却炉*	g/m ³ N	0.1	0.071
SOx (燃料S分規制)		wt%	0.5	0.17
ダイオキシン	焼却炉*	ng-TEQ/m ³ N	10	1.0

*2002年11月廃止

◎水質

物質	単位	規制値	最大	最小	平均
BOD	mg/l	20	19.7	2.3	9.1
COD	mg/l	20	19.8	4.7	11.5
SS	mg/l	20	5.4	<0.5	1.8
油分	mg/l	1	1.0	0.2	0.3
全窒素	mg/l	60	17.6	1.7	6.1
全リン	mg/l	8	6.9	0.2	5.1
銅	mg/l	3	ND	ND	ND
亜鉛	mg/l	5	0.1	0.1	0.1
マンガン	mg/l	10	0.3	ND	0.3
全クロム	mg/l	0.5	ND	ND	ND
鉛	mg/l	0.1	ND	ND	ND

◎PRTR対象物質 (単位:kg/年)

物質番号	物質名	取扱量	排出量		移動量		リサイクル量	除去処理量	消費量
			大気	公共用水域	下水道	廃棄物			
1	亜鉛の水溶性化合物	35,148	0	626	0	7,203	0	0	27,319
16	2-アミノエタノール	6,938	0	0	0	0	0	6,938	0
30	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	7,848	0	0	0	236	0	0	7,612
40	エチルベンゼン	159,252	115,946	0	0	9,562	0	11,414	22,330
43	エチレングリコール	1,001,293	0	0	0	0	0	0	1,001,293
63	キシレン	1,196,083	764,988	0	0	268,637	0	43,188	119,270
101	メチレンジクロール モノエチルエーテルアセテート	7,377	6,124	0	0	369	0	884	0
176	有機スズ化合物	19,391	0	0	0	970	0	0	18,421
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	6,663	1,287	0	0	2,738	0	46	2,592
227	トルエン	1,053,891	595,792	0	0	295,671	0	8,320	154,108
230	鉛及びその化合物	2,719	0	0	0	136	0	0	2,583
232	ニッケル化合物	6,529	0	783	0	3,525	0	0	2,220
266	フェノール	2,231	0	0	0	0	0	2,231	0
272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	1,726	0	0	0	52	0	0	1,674
299	ベンゼン	12,615	167	0	0	0	0	0	12,448
307	ポリ(オキシエチレン)アルキルエーテル	3,984	0	40	0	3,944	0	0	0
309	ポリ(オキシエチレン)ニルフェニルエーテル	1,284	0	13	0	1,271	0	0	0
310	ホルムアルデヒド	5,020	1,460	0	0	0	0	3,560	0
311	マンガン及びその化合物	5,346	0	313	0	1,804	0	0	3,230
	合計	3,535,337	1,485,764	1,775	0	596,116	0	76,582	1,375,100
179	ダイオキシン類 (g-TEQ/年)	0.064	0.014	0.000	0.000	0.050	0.000	0.000	0.000

三菱ふそう 川崎製作所 <ISO14001取得：1999年12月>

■ 川崎製作所



所在地	神奈川県川崎市 中原区大倉町10
設立	1941年
敷地/建物延面積	431,200/ 304,700m ²
社員数	3,200人
主な生産品目	大・中・小型トラック、 トラックバス用エンジン、 産業エンジン
生産工程	機械加工、プレス、 溶接組立、塗装、組立

◎大気

物質	設備	単位	規制値	排出状況
NOx	ボイラー	ppm	130	45
	暖房機	ppm	150	75
	乾燥炉	ppm	250	10
	ガスタービン	ppm	70	24
ばいじん	ボイラー	g/m ³ N	0.05	0.002
	暖房機	g/m ³ N	0.05	0.002
	乾燥炉	g/m ³ N	0.25	0.005
	焼却炉*	g/h	1564-506	-
	ガスタービン	g/m ³ N	0.03	0.001
ダイオキシン	焼却炉*	ng-TEQ/m ³ N	10	<0.1

*2002年11月廃止

◎水質

物質	単位	規制値	最大	最小	平均
BOD	mg/l	300	56.0	0.1	21.3
SS	mg/l	300	34.0	0.1	14.4
油分	mg/l	5	4.8	0.1	1.6
全窒素	mg/l	150	22.0	3.8	9.4
全リン	mg/l	20	4.0	0.035	1.2
銅	mg/l	3	ND	ND	ND
亜鉛	mg/l	3	0.2	0.07	0.1
マンガン	mg/l	1	0.2	ND	0.2

注)下水道へ放流

◎PRTR対象物質(単位:kg/年)

物質番号	物質名	取扱量	排出量		移動量		リサイクル量	除去処理量	消費量
			大気	公共用水域	下水道	廃棄物			
1	亜鉛の水溶性化合物	2,318	0	0	37	255	0	0	2,026
16	2-アミノエタノール	8,112	0	0	8,112	0	0	0	0
40	エチルベンゼン	13,762	2,927	0	0	0	0	0	10,835
43	エチレングリコール	495,900	0	0	0	0	0	0	495,900
63	キシレン	271,688	181,464	0	0	532	36,089	5,223	48,380
227	トルエン	160,608	96,571	0	0	34	0	6,607	57,396
230	鉛及びその化合物	1,761	0	0	4	176	0	0	1,582
232	ニッケル化合物	741	0	0	90	396	0	0	255
299	ベンゼン	3,815	138	0	0	0	0	0	3,677
309	ポリ(オキシエチレン)ノニルフェニルエーテル	2,921	0	0	301	2,620	0	0	0
346	モリブデン及びその化合物	2,402	0	0	0	0	2,001	0	401
	合計	964,027	281,100	0	8,543	4,013	38,090	11,830	620,451
179	ダイオキシン類(g-TEQ/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

■ 中津工場



所在地	神奈川県愛甲郡愛川町 中津字桜台4001
設立	1975年
敷地/建物延面積	35,700/ 17,400m ²
社員数	170人
主な生産品目	トランスミッション、 歯車関係部品
生産工程	機械加工

◎大気

物質	設備	単位	規制値	排出状況
NOx	ボイラー	ppm	150	110
ばいじん	ボイラー	g/m ³ N	0.3	0.001

◎水質

物質	単位	規制値	最大	最小	平均
BOD	mg/l	300	5.0	0.1	1.3
SS	mg/l	300	10.0	0.1	4.7
油分	mg/l	5	2.6	0.1	0.6
全窒素	mg/l	150	3.3	0.5	2.9
全リン	mg/l	20	0.3	0.1	0.2
銅	mg/l	3	ND	ND	ND
亜鉛	mg/l	3	0.09	0.07	0.08
マンガン	mg/l	1	ND	ND	ND

注)下水道へ放流

◎PRTR対象物質(単位:kg/年)

物質番号	物質名	取扱量	排出量		移動量		リサイクル量	除去処理量	消費量
			大気	公共用水域	下水道	廃棄物			
63	キシレン	1,936	11	0	0	0	0	0	1,925
227	トルエン	2,306	32	0	0	0	0	0	2,274
	合計	4,242	43	0	0	0	0	0	4,199

■ 大江バス工場

所在地	愛知県名古屋市区本星崎町 字南3998番16
設立	1982年
敷地/建物延面積	42,600/ 28,000m ²
社員数	220人
主な生産品目	小型バス
生産工程	溶接組立、塗装、組立

◎大気

該当施設なし

◎水質

外部委託処理

◎PRTR対象物質(単位:kg/年)

物質番号	物質名	取扱量	排出量		移動量		リサイクル量	除去処理量	消費量
			大気	公共用水域	下水道	廃棄物			
1	亜鉛の水溶性化合物	4,242	0	68	0	467	0	0	3,708
43	エチレングリコール	27,866	0	0	0	0	0	0	27,866
63	キシレン	64,402	59,199	0	0	1,755	3,148	0	300
227	トルエン	6,223	4,073	0	0	624	1,153	0	373
232	ニッケル化合物	1,731	0	209	0	926	0	0	595
	合計	104,464	63,272	277	0	3,771	4,302	0	32,842

関連会社の環境データ

2002年度における、三菱自動車／三菱ふそうの国内主要関連会社の工場環境データは次のとおりです。
 (規制値は該当地域で適用される法律、条例、公害防止協定の中で最も厳しい数値を記載しています。
 また、大気排出状況は測定値の内の最大値を示しています。なお、表中の専門用語についてはP.58を参照)

三菱自動車 関連会社

パジェロ製造(株) <ISO14001取得:1999年7月>

所在地	岐阜県加茂郡坂祝町酒倉2079番地	社員数	1,800人
設立	1943年	主な生産品目	乗用車
敷地/建物延面積	189,200/108,800m ²	生産工程	プレス、溶接組立、塗装、組立

◎大気

物質	設備	単位	規制値	排出状況
NOx	ボイラー	ppm	180	91
	乾燥炉	ppm	230	16
ばいじん	ボイラー	g/m ³ N	0.2	<0.01
	乾燥炉	g/m ³ N	0.2	<0.019

◎水質

物質	単位	規制値	最大	最小	平均
COD総量	kg/日	39.3	17.3	14.4	15.8
BOD	mg/l	30	2.7	0.5	1.4
SS	mg/l	60	6.5	1.0	2.3
油分	mg/l	5	0.7	0.5	0.5

水島工業(株) <ISO14001取得:2001年10月>

所在地	岡山県倉敷市水島高砂町2番1号	社員数	430人
設立	1957年	主な生産品目	自動車用部品
敷地/建物延面積	23,400/21,800m ²	生産工程	溶接組立、塗装、組立

◎大気

該当施設なし

◎水質

物質	単位	規制値	最大	最小	平均
COD	mg/l	30	20.0	2.7	14.2
BOD	mg/l	30	4.6	0.8	2.5
SS	mg/l	50	10.0	ND	4.4
油分	mg/l	5	0.5	ND	<0.5

三菱ふそう 関連会社

三菱自動車テクノメタル（株） 二本松工場 〈ISO14001取得：2003年3月〉

所在地	福島県二本松市高田100	社員数	755人
設立	1971年	主な生産品目	自動車用部品
敷地／建物延面積	326,000／65,400m ²	生産工程	鋳造、鍛造、アルミダイカスト、金型、機械加工

◎大気

物質	設備	単位	規制値	排出状況
NO _x	ボイラー	ppm	200	68
	加熱炉	ppm	170	140
ばいじん	ボイラー	g/m ³ N	0.2	0.001
	加熱炉	g/m ³ N	0.2	0.04
ダイオキシン類	焼却炉	ng-TEQ/m ³ N	5	0.16

◎水質

物質	単位	規制値	最大	最小	平均
COD	mg/l	20	5.6	3.7	4.7
BOD	mg/l	20	1.9	<1.0	1.2
SS	mg/l	40	<2.0	<2.0	<2.0
油分	mg/l	5	<1.0	<1.0	<1.0

三菱自動車バス製造（株） 〈ISO14001取得：2003年度末予定〉

所在地	富山県婦負郡婦中町道場1番地	社員数	720人
設立	1950年	主な生産品目	大・中型バス
敷地／建物延面積	176,900／52,400m ²	生産工程	溶接組立、塗装、組立

◎大気

物質	設備	単位	規制値	排出状況
NO _x	ボイラー	ppm	150	73
	乾燥炉	ppm	230	28
ばいじん	ボイラー	g/m ³ N	0.1	<0.02
	乾燥炉	g/m ³ N	0.2	<0.05

◎水質

物質	単位	規制値	最大	最小	平均
BOD	mg/l	30	6.0	1.1	2.6
SS	mg/l	30	8.0	5.0	6.7
油分	mg/l	3	ND	ND	ND

(株)パプコ 相模工場 〈ISO14001取得：2000年6月〉

所在地	神奈川県海老名市柏ヶ谷456番地	社員数	590人
設立	1945年	主な生産品目	トラック架装
敷地／建物延面積	88,700／56,200m ²	生産工程	溶接組立、塗装、組立

◎大気

物質	設備	単位	規制値	排出状況
NO _x	ボイラー	ppm	—	46
ばいじん	ボイラー	g/m ³ N	0.3	0.002

◎水質

物質	単位	規制値	最大	最小	平均
BOD	mg/l	300	24.0	17.0	20.5
SS	mg/l	300	8.2	5.0	6.3
油分	mg/l	5	3.2	2.8	2.8

環境活動の歴史

年	製品・技術開発	マネジメント・生産部門など
1966	●東京電力(株)と電気自動車の研究開発	
1969	●ガスタービンの研究開発開始	
1970		◎三菱重工(株)より分離し、三菱自動車工業(株)設立
1971	●軽商用電気自動車を限定生産 ●「路線用電気バスの研究開発」プロジェクトに参画し、その後、電気バスを京都市・神戸市の交通局に納入	
1972	●低公害のMCAエンジンの発表	
1977	●低公害かつ高効率のMCA-JETエンジンを発表	
1979	●メタノール自動車の研究開発を開始 ●プロトタイプのガスタービントラックを開発	
1980	●MCA-JETエンジンが「日本機学会 技術賞」を受賞	
1982	●低燃費のオリオン1400MDエンジンを発表	
1986	●燃焼効率の良いサイクロンエンジンを発表	
1987		●滋賀工場が緑化優良工場として「通産大臣賞」を受賞
1988	●ディーゼルエンジンの低NOx化技術として、世界初のプレストローク制御式燃料噴射ポンプを発表	
1989	●「エテルナΣメタノール車」の公道上実用試験を開始	●地球環境問題プロジェクトチームを設置 ●ダイヤモンド・スター・モーターズ社(現 米国三菱自動車製造)が米国産業開発調査協議会から「優秀環境保全事業賞」を受賞 ●岡崎工場が緑化活動で「愛知県特別賞」を受賞
1990	●「ギャランFFV(メタノール車)」の長期テストを米国カリフォルニア州エネルギー委員会を実施 ●プレストローク制御式燃料噴射ポンプが「日本機械学会 技術賞」を受賞 ●通産省「自動車用セラミックガスタービンプロジェクト」に参画	
1991	●MVVエンジンを発表 ●「ランサー電気自動車」を東京電力(株)と共同開発	●100g以上の樹脂部品に材料識別コードを刻印
1992	●MVVエンジンが「自動車技術会 技術開発賞」を受賞 ●低燃費と高出力を両立したMIVECエンジンを発表 ●ディーゼルトラックから出る微粒子を抑える研究を開始 ●セラミックスタービンローターの開発に対し「日本ガスタービン学会 技術賞」を受賞	●コージェネレーションシステムを大江工場に導入 ●水島製作所が岡山県から「地域環境保全功労者表彰」を受賞
1993	●「リベロ電気自動車」を東京電力(株)と共同開発し、東京電力(株)及び東京都に合計30台納入 ●小型乗用ハイブリッド電気自動車「ESR」を第30回東京モーターショーに出展 ●「メタノールキャンター」の公道上実用試験を開始	●「三菱自動車環境プラン」を策定するとともに、「環境に関する基本理念」を制定 ●「環境会議」を設置
1994	●「リベロ電気自動車」を一般販売 ●「ギャランメタノール車」の導入モデル事業を開始 ●油圧ハイブリッドシステム「MBECS」搭載バスを販売開始 ●「メタノールキャンター」の試行販売開始 ●「キャンター天然ガス自動車」を開発 ●新車におけるエアコン用冷媒フロンCFC-12を全廃し、新冷媒HFC-134aに全て切り替え ●新車における鉛使用量の削減活動を開始 ●リサイクル促進のため、プラスチック部品からの塗膜剥離技術を確立	●生産工程におけるCFC(フロンガス)を全廃

年	製品・技術開発	マネジメント・生産部門など
1995	<ul style="list-style-type: none"> ●低燃費・高出力のガソリン筒内噴射エンジン「GDI」を世界に先駆けて開発・発表 ●「三菱HEV」を開発し、カリフォルニア州大気資源局CARBで実用実験を実施 ●プレビューディスタンスコントロールを「ダイヤモンド」に搭載 ●ディーゼル車として初めて平成11年排出ガス規制をクリアしたMBECS-IIを発表 ●「キャンターHEV」を開発し、第31回東京モーターショーに出展 ●DPFシステムを路線バスに搭載し、公道実用試験を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●滋賀工場が緑化運動功労者として「内閣総理大臣賞」を受賞 ●生産工程における1.1.1-トリクロロエタンを全廃
1996	<ul style="list-style-type: none"> ●GDIエンジン搭載車「ギャラン/レグナム」の発売 ●GDIエンジンが「省エネルギーセンター通商産業大臣賞」を受賞 ●一部車種にVICS対応MMCSの搭載を開始 ●機械式AT「INOMAT」を開発 ●燃費をさらに向上させたMBECS-IIIを発表 ●コモンレール式燃料噴射装置を量産トラック用エンジンとして世界で初採用 ●「LPGキャンター」を発売 ●路線バス用DPFシステムを実用化し、横浜市に30台納入 	<ul style="list-style-type: none"> ●三菱自動車環境プランを改訂 ●環境会議にリサイクル部会を新設
1997	<ul style="list-style-type: none"> ●GDIエンジンが「日本機械学会賞」及び「自動車技術会技術開発賞」を受賞 ●GDIエンジンを開発・普及したとして「平成9年度環境保全功労者表彰 地球温暖化防止部門」を受賞 ●「CNGキャンター」を発売 ●低コストかつ高性能なリチウムイオン電池を日本電池（株）と共同で開発 ●「シャリオグランディス」より、エアコン用冷媒HFC-134aの使用量を約20%削減 ●通産省「自動車用セラミックガスタービンプロジェクト」で世界トップレベルの熱効率を達成 	<ul style="list-style-type: none"> ●販売店で修理交換されたバンパーを回収してリサイクルを開始 ●コージェネレーションシステムを京都工場に導入 ●岡崎/川崎工場が環境庁PRTRパイロット事業に参画 ●経団連の自主的なPRTRトライアル事業に全8工場が参画 ●取引先向け工場環境トピックスを発行 ●主要関連会社とMMCグループ工場環境連絡会を設置
1998	<ul style="list-style-type: none"> ●MVVエンジンを新規軽自動車に標準搭載 ●「ギャラン/レグナム/アスパイア低排出ガス仕様車」発売 ●古紙を使用した部品を開発し、新型「パジェロイオ」から適用 ●「CNGエアロスター」を発売 ●リサイクル容易なTEO製による、車両の全部位に適用可能なウェザーストリップを開発 	<ul style="list-style-type: none"> ●「三菱自動車使用済自動車リサイクル自主行動計画」を発表 ●エアコン用フロン(CFC-12)回収・破壊システムの全国展開を完了 ●名古屋/京都/水島製作所がISO14001の認証を取得 ●塩素系洗浄剤のテトラクロロエチレン、ジクロロメタンを全廃
1999	<ul style="list-style-type: none"> ●GDIシグマシリーズを開発 ●乗用車用直噴ディーゼルエンジンを新型「パジェロ」に搭載 ●GDI-ASG搭載車「ピスタチオ」を新開発 ●軽量化プロジェクトチームの設置 	<ul style="list-style-type: none"> ●「環境に関する基本理念」に替えて、新たに「三菱自動車環境指針」を制定 ●環境部を設置(2000/4月 環境技術部に名称変更) ●「三菱自動車環境報告書」初版を発行 ●東京製作所がISO14001の認証を取得(これにより、国内の全製作所にて認証の取得が完了)
2000	<ul style="list-style-type: none"> ●GDI-CVTを新型「ランサーセディア」等に搭載 ●「パジェロイオ」にGDIターボを搭載 ●大型路線バス用電気ハイブリッド駆動システムを開発し、東京モーターショーに出展 	<ul style="list-style-type: none"> ●グリーン調達(取引先への環境取り組み協力要請)を開始 ●販売会社における環境取り組み体制を構築
2001	<ul style="list-style-type: none"> ●古紙入り再生ポリプロピレン製エアクリナーケースを開発 ●原料着色樹脂製ドアガーニッシュを開発し「ディオ」に採用 ●実験用試作車「エクリプスEV」の四国一周公開試験を実施 ●GDI-ISAをフランクフルトショーで発表 ●GDIエンジン生産累計100万台を突破 	<ul style="list-style-type: none"> ●名古屋製作所・京都製作所で廃棄物の埋立処分ゼロ化を達成
2002	<ul style="list-style-type: none"> ●GDIエンジンの触媒反応制御システムが「省エネルギーセンター会長賞」を受賞 ●新燃焼システム「MIQCS」が「自動車技術会 技術開発賞」を受賞 ●走行中のタイヤからの騒音の低減に関する研究が「自動車技術会 浅原賞学術奨励賞」を受賞 ●「エアロスターノンステップHEV」がサッカーワールドカップ期間中に静岡スタジアムへの観客輸送用シャトルバスとして運行 ●四国EV駅「電」に「エクリプスEV」で参加 ●新型「コルト」が当社初の「超・低排出ガス」の認定を取得 	<ul style="list-style-type: none"> ●リサイクル推進室を設置 ●全製作所で廃棄物埋立処分ゼロ化を達成 ●中期環境行動計画「三菱自動車 環境サステナビリティプラン」を公表 ●ダイムラークライスラー社と欧州リサイクル事業での協業推進に合意
2003 (4月まで)	<ul style="list-style-type: none"> ●水島製作所において、水性塗料採用の新塗装工場の建設を開始 ●エアバッグ布端材の再生材を使用したキャニスターケースを世界で初めて開発 ●ふそうバスの指定低公害車が累計生産台数400台を突破 	<ul style="list-style-type: none"> ◎三菱自動車工業(株)よりトラック・バス部門が分離し、三菱ふそうトラック・バス(株)が設立

三菱自動車／三菱ふそうの環境保全活動について

自分の子供や孫が誕生したり、ペットが子供を生んだ時、また梅や桜の木の枝にきれいな花が咲いた時や、祖先のお墓参りに行って大きな青空を見上げたり、名も無き小川の清流を目にした時、多くの人の脳裏を、環境汚染、地球温暖化、化石燃料枯渇といった言葉がよぎるのではないのでしょうか。

このような問題を克服し、持続的に社会を発展させる為の取り組みが、世界規模で進められております。

三菱自動車においても、中期環境行動計画「環境サステナビリティプラン」を2002年度からスタートさせました。この計画では、自動車の「つくる、つかう、もどす」のライフサイクルにおいて、環境マネジメント、リサイクル、地球温暖化防止、環境汚染防止の観点から、持続的な社会の発展に貢献する為の実行項目と具体的な達成目標を定めました。そして、この中期目標を必達する為に、各年度のアクションプランを定め、定期的に進捗状況をフォローし、スパイラルアップを図りながら、これを進めてまいります。

2002年度のアクションプランは、確実に推進する事が出来、予想以上の成果を挙げつつあります。そして、地球規模での環境への取り組みの加速に合わせて、中期環境行動計画の取り組み項目の追加や、目標の一部見直しを実施して、更なる充実を図り、2003年度をスタートしました。

本報告書では、2002年度の活動実績と今後の取り組みについて三菱自動車とともにご報告させていただきます。

2002年6月にフルモデルチェンジした小型トラック「キャンター」ではリサイクル可能率90%以上を達成しました。10月の東京モーターショーでは将来にわたるディーゼルエンジンの排出ガス低減技術のコンセプトをご紹介させていただきました。

また、12月20日には川崎地区の生産工場のISO14001更新審査にあわせ「開発・設計業務に関するEMS(環境マネジメントシステム)」について認証を取得し、開発・生産・使用・廃棄のすべての段階で環境負荷の低減に取り組んでおります。

私たち三菱ふそうはダイムラークライスラー社との協業を最大限に生かし、中期環境行動計画「環境サステナビリティプラン」を新しいかたちで実施して参ります。

三菱自動車は、ダイムラークライスラー社との協業による最新の環境技術の導入や、新車の開発時に環境影響を確実に評価できる仕組みの構築、各種環境規制の先取り実行、低燃費・低公害車の投入加速、効率的な自動車リサイクルネットワークの構築や、お取引先、販売会社、海外関連拠点との環境問題取り組みの連携強化などの確実な遂行により、持続可能な発展に貢献する事をお約束します。

この報告書でそのお約束を皆様にお伝えいたしたく思います。

皆様の、率直なご批判、ご意見、ご感想を頂戴できれば幸いです。

三菱自動車工業株式会社
執行役員 (EO)
経営戦略本部
環境関係並びにリサイクル担当

樹下 忠義

樹下 忠義



本報告書を通して三菱ふそうの環境への取り組みをお伝えすると共に、これからも環境に配慮した高品質なトラック・バスを提供していきたいと存じます。

三菱ふそうトラック・バス株式会社
常務執行役員 (SEO)
品質・技術本部長

越川 忠

越川 忠

